



成果指標				
成果指標	水防訓練参加率<消防団、自主防災会、市職員>			
指標設定の考え方	水防に関する意識高揚と水防活動に必要な技術の習得の度合いを測定する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	100	100
実績	105.8	100	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>・例年実施の水防訓練については、水防工法訓練に必要な用品の事前準備やその実施等、円滑に実施できた。・水害に備えレインウェア等資機材備蓄や水害時に必要となるどのう作りを行い必要相当数の備蓄に努めることができた。・その他梅雨前線豪雨や台風等の水害に備えて、どのう積みなどの事前応急対応迅速に対応することが出来た。これら活動は今後も継続して推進していく必要があると考える。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>豪雨や台風等の水害等に備えた事前の土のう作成や、降雨による土のうの設置等の対応を行っている。また、消防団員は水防工法指導者養成実技講習にも参加しており、引き続き、効果的な活動が出来るようスキルを向上させる必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題